

# 独特の柔らかな手ざわりを実現する フロッキー加工の衣料品を展開

株式会社 ティーヘッド

代表取締役 吉田 貴志さん



吉田 貴志さん

## フロッキー加工を現代によみがえらせる

ベルベットのような光沢と、上質の羽毛のようにふんわり柔らかな肌触り。株式会社ティーヘッドの作り出すフロッキー加工は今、世界的なハイブランドからも注目を集めています。同社は現代では珍しくなったこのフロッキー加工技術を独自に究め、衣料品に応用。大手アパレルメーカーやデザイナーから製品の受注生産やフロッキー加工を請け負う他、フロッキー加工を生かした衣料品を製作する自社ブランド「beanxious (ビー・アンキシャス)」を展開しています。

## 長い毛足、柔らかな手ざわりを実現

フロッキー加工とは、ナイロンやレーヨンなどの短繊維（パイル）を高圧の静電気力で素材に垂直に差し込む技法のこと。かつては電車やバスのシートやぬいぐるみなど、身近なところで目にすることができました。しかし手間のかかる加工が敬遠され、近年は手がける企業が激減。現在は、プレス機を使用した簡便で安価な大量生産が大勢を占めています。しかしプレス機を使用した加工では、繊維が素材に押し付けられてゴワゴワと固い仕上がりとなり、フロッキー加工本来の立体感や柔らかな手ざわりは損なわれてしまいます。

「当社では、本来のフロッキー加工技術を磨き上げ、独自の手法を開発しました」と語るのは、代表取締役の



手仕事で大量生産にはできないフロッキー加工の風合いを実現



柔らかな動物の毛のような手ざわりのフロッキー加工

## 伝統工芸品の活用

吉田貴志さん。同社では、創業以来手がけてきたシルクスクリーン捺染法を用いて生地に糊の役割を果たす樹脂の層を作り、独自開発の静電気発生装置で4万ボルトの静電気を発生させ、さらに独自の技法で繊維を直接生地に植え付けます。これによって繊維が真っ直ぐに立ち上がり、プレス機での加工には真似できないふんわりと柔らかな手ざわりと、独特の立体感を実現。着心地を損なわないため、衣類などへの応用が可能になり、用途が一気に広がりました。

さらに同社は、短繊維だけでなく、より細く長い繊維のフロッキー加工をも可能にしました。「毛足が長い繊維ほど素材に垂直に植え付けるのが難しいため、通常繊維の長さは0.8mmまでが限界といわれています。しかし当社は、4mmもの長繊維をしかも手ざわりに直結する細さを保ちながらフロッキー加工を施す技術を確立しました」と吉田さん。これによって、まるで柔らかな毛足の小動物をなでた時のような手ざわりに仕上がりました。

## デザイン性が評価されハイブランドとコラボ

ティーヘッドの強みは、フロッキー加工技術の高さのみならず、デザイナーでもある吉田さんによって、デザインから提案できる点です。受注生産と並行して同社が展開するブランド「beanxious」では、フロッキー加工を生かしたオリジナルデザインのTシャツやパーカー、ジャケット、パンツといった衣類の他、バッグや帽子などの小物も製造・販売しています。

「もともとは、フロッキー加工を始めたものの、認知度の低さからどのメーカーにも採用してもらえず、途方に暮れたことが始まりでした。まずはフロッキー加工を知ってもらうことが先決と考え、実際に商品を作って見ってもらうために自社ブランドを立ち上げたのです」と、吉田さん。サンプル代わりに自社製品をメーカーに持ち込み、その風合いやデザイン性を感じてもらってようやく評価されたと振り返ります。その後は口づてに評判が広がり、徐々に受注依頼が舞い込むようになりました。

さらには平成24(2012)年、世界的なスポーツ用品メーカーと有名デザイナーによるコラボレーション企画としてロンドンオリンピックモデルTシャツが制作された際には直々に注文を受け、デザインからプリント、フロッキー加工まですべてを任せられました。その年のNYコレクションで、フロッキー加工技術とともにそのデザイン性が大きな話題を呼び、それを機にハイブランドからの

依頼や、両社のブランド名を記載するダブルネームでの販売などコラボレーションが次々と実を結びました。



自社ブランド「beanxious」を展開

## 自社ブランドの発展を図り、ショップを新設

さらなるステップアップを目指し、ティーヘッドでは、自社製品のアイテムの増加を図る他、壁紙やボタン、家具、木製品、フロアマットなどこれまで接点のなかった分野ともコラボレーションを展開していこうとしています。幅広い製品の生産に対応するため、生産体制を強化。ファンドを活用して静電気発生装置を増設しました。一方で、展示会にも積極的に出展し、認知度の向上、販路開拓にも力を注いでいます。

「自社ブランドをいっそう大きく成長させたい」と、目標を掲げる吉田さん。平成26(2014)年2月には、ファクトリーショップもオープン。それまでオンラインショップや百貨店の催事場での販売のみだったのが、店舗でも購入できるようになりました。ファクトリーショップでは、一般向けにフロッキー加工体験も実施する計画。フロッキー加工の認知度向上にも一役買いそうです。

### 事業概要

#### 株式会社ティーヘッド

http://beanxious.com/

代表：代表取締役 吉田 貴志

業種：フロッキー加工・シルクスクリーン捺染

創業：平成18(2006)年5月

住所：601-8203 京都市南区久世築山町 479-2

TEL：075-922-0890 FAX：075-922-0890